

志す宇宙は無限 7月号

発行：楠隼高等学校 宇宙部

楠隼 宇宙ビジネス連携講座 始動！

高校の「シリーズ宇宙学」において、全国初の取り組みとなる「宇宙ベンチャー企業と連携・協力した新たな人材育成プログラム」が始動した。6月8日に1年生を対象に、第1回目の特別講義が行われた。九州大学発ベンチャーのOPPS研究所の代表取締役社長CEO大西俊輔氏とファウンダー八坂哲雄氏をお招きし、社会を変える新知識、デブリ（宇宙ゴミ）の問題やOPPS研究所での衛星打ち上げまでの過程について、約2時間の講座が開かれた。

また、6月15日には「衛星の作り方 A to Z」をテーマに第2回特別講義が行われた。衛星を作るための26の手順を並べてみるグループワークからスタート。各々がもつ知識や発想を利用し、積極的に発言して取り組む様子が見られた。

6月26日には「事業計画を学ぶ」をテーマに、日本で1番古い宇宙ベンチャーでもあるOPPS研究所がどのようにしてこれまでの知名度となったのかなどのお金に関する講義が行われた。ビジネスとして宇宙を目指す流儀を長年の経験から学んだことも織り交ぜながら、アドバイスをいただいた。これまでの宇宙学講義では詳しく聞くことができなかった、宇宙をビジネス視点で考える機会となり、多くの生徒が聞き入っていた。

「ひとくちメモ」OPPS研究所とは？」

（株）OPPS研究所は現在、世界トップレベルの小型レーダーを開発・運用し、今後は毎年、衛星を複数機打ち上げ、2025年以降を目標に36機の衛星で平均10分ごとの準リアルタイム地上観測データ提供サービスを目指している宇宙開発ベンチャー企業。

宇宙日記

6月17日に本校の文化祭が開催されました。宇宙部からも「はやぶさ2 実寸大模型」を展示しました。また屋外ではモデルロケットの打ち上げのデモンストレーションを行いました。

はやぶさ2の模型は、1辺が約1・5メートル、全長約3メートルと巨大大展示作品となりました。組み立てが文化祭前日からしかできず、かなりハードでしたが、部員に加え、同級生も助っ人として手伝ってくれました。やつとの思いで、当日の朝に完成しました。

当日は天候にも恵まれ、モデルロケットの打ち上げのデモンストレーションも無事に開催できました。ギヤラリーが100人程度いる中、中学生が作ったモデルロケットは成功ばかりで、私たち高校生も感激しました。

皆さんに宇宙部の活動を肌で感じていただく機会が少ないので、今回の文化祭を通して発信でき、本当にうれしかったです。今後とも宇宙部の活動にご注目、ご協力をよろしくお願いします。

宇宙日記 Vol.2

6月18日に国分高校で缶サットに向けたワークショップが開催されました。国分高校生と本校宇宙部が参加し、缶サットの概要や大会、製作に関する説明をしていただきました。午前はプログラミングの基本を教えていただき、実際に電子部品を触ったり、LEDライトを点滅させたりしました。また、落下実験用のパラシュートや電子機器を収納する容器の製作も行いました。午後からは気圧センサ、加速度センサを取り付け、気圧と加速度が測定できる簡単な缶サットが完成しました。今回の企画に参加した、1年の森啓太さんは「全国大会優勝を目指して頑張っていきたい。ユニークなミッションを考えていきたい」と話していました。



やってみよう！身近な宇宙

『夏休みは宇宙を学ぼうぜ』

夏休みの計画はあるでしょうか。家でゴロゴロなんてことはないですよね……。この夏は宇宙について学んでみませんか？今回は宇宙の学び方をご紹介します。

1つ目は、夜空を眺めること。家族で夜空を眺めに行きましょう。これまでの悩みをすべて忘れることができます。また、少年自然の家などでは天体観測会などのイベントも開催されることがありますので、ぜひ参加してみてください。

2つ目は、科学館に行ってみてはどうでしょうか。自由研究も兼ねて科学館に足を運んでみてください。体験型の活動や実物展示など、科学館ならではの発見があります。科学館でも親子で楽しむことができます。イベント等も企画されています。

3つ目は、宇宙研究機関の見学です。内之浦宇宙空間観測所や種子島宇宙センターなどの研究機関では、施設見学が可能などところもあります。ご家族で訪れてみてはどうでしょうか。

4つ目は、宇宙が題材となった映画を観る。家でゴロゴロしたい方には、お勧めです。宇宙に関する映画もいろいろあるので、この機会に制覇するのもよいかもしれません。

このように、宇宙について学ぶことのできる場所はたくさんあります。ぜひこの夏休みを活用して学んでみてください。学び始めると止まらない、それが宇宙の醍醐味です。

詳しくは、各機関のホームページ等をご覧ください。

宇宙の声

「宇宙に行きたい」と感じたことがあるのではないのでしょうか。私たちが宇宙に行くことができるようになるのはいつ頃なのでしょう。近年「宇宙旅行」が注目されています。

先日、アメリカの宇宙企業ヴァージン・ギャラクティックが商業宇宙旅行を実施しました。飛行場から母船となる航空機が離陸し、高度14キロメートルで宇宙船を切り離し、宇宙船は高度85キロメートルで到達した後、下降して着陸しました。数分間無重力も体験でき、手軽な宇宙旅行として今後注目されています。

気になるお値段ですが、宇宙船の座席価格は1人45万ドル(約6500万円)で、約800席分が予約済みだといわれています。日本からも20人弱が申し込んでおり、多くの人が宇宙に行くことができるようになることが期待されています。皆さんもこの20人の後を追ってください。私は宝くじが当たらない限り、両親が認めてくれないかもしれませんが……。

現在は価格的に手の届きにくい現状です。しかし、この事業に多くの企業が参入し、宇宙旅行が活発になれば、少しずつ価格も下がってくるように考えられます。将来的には海外旅行に行く気分です宇宙旅行に行くことができるれば、多くの人が宇宙旅行を楽しむことができるのではないのでしょうか。

私たちが宇宙に行く未来はもうそこまで来ています。まずは、未来を信じて宇宙旅行代のために一生懸命働いて、コツコツお金を貯めるか、宝くじを当てるしかありませんね。皆さん、頑張ってください！

ご愛読、ありがとうございます！！

本校の文化祭では、多くの方々が宇宙部の展示作品、デモンストレーションをご覧いただき本当にありがとうございました。日々の活動をお伝えできていなかったのも、本当に良い機会となりました。少しでも興味を持った方がいましたらぜひ、宇宙部へ。お待ちしております。缶サットの全国大会で優勝することを目指して今後とも活動を続けていきますので、ご注目・ご協力をよろしくお願いします。

楠隼高等学校 宇宙部

宇宙からのささやき

喜びは人生の要素であり、人生の欲求であり、人生の力であり、人生の価値である。

ヨハネス・ケプラー

ドイツの天文学者、数学者、物理学者、自然哲学者、占星術師。

天体の運動に関する法則を発見した。